

しんあい

季刊

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-366-0080

多摩同胞会のホームページを開設
しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をご覧ください

2007年(平成19年) 7月15日発行 第63号 編集と発行 しんあい編集部



お母さんと私、そっくりでしょ。（しらとり）

介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑在宅介護支援センター
☎ 0120-6540-24
老後支援 24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター
☎ 0120-2942-24
福祉にっこり 24時間

多摩同胞会の基本指針
常に防災を心がけ
火を出さない
水、電気などの
資源を大切にする
施設だより
テーマ「夏色物語」

昨年度の創立六十周年記念事業の一環として、「多摩同胞会の理念（ミッションステートメント）」を明文化しました。

ミッションステートメントのなかで、中城イマ前理事長の4つの信念を、私たち職員が日常業務で心がける基本的な指針として位置づけました。

4つの基本指針について、私たちは日ごろから様々な取り組みを行っていますが、特に今号では

3. 水、電気などの資源を大切にする
4. 常に防災を心がけ火を出さない
の例として、自衛消防隊の活動と、各施設で実践しているエコロジーについてご紹介します。

ミッションステートメント（抜粋）

法人の役割

私たちは家族を支援します

法人の基本的姿勢

最も困っている人々のいのちと生活を支えます

法人の基本指針

1. 利用者には深い共感をもつ
2. 地域の方々に感謝する
3. 水、電気などの資源を大切に使う
4. 常に防災を心がけ火を出さない

なお全文は各施設に掲示されています。是非一覧下さい。

私たち職員は、法人創設者中城イマ前理事長の4つの信念を基本的な指針とします。

1. 利用者には深い共感をもつ

- ・ いたみを分かちあう共感
- ・ 相手の立場に立つ共感

2. 地域の方々に感謝する

- ・ 他者への感謝
- ・ 内部にあっては職員相互あるいはご利用者への「ありがとう」の気持ち
- ・ 我以外みな我が師

3. 水、電気などの資源を大切に使う

- ・ 自然を大切に
- ・ 環境を汚さない
- ・ 自然の恵み、資源を未来につなげる

4. 常に防災を心がけ火を出さない

- ・ 安心安全を常に心がける
- ・ 安全を脅かさない

多摩同胞会の基本指針

法人創設者中城イマ前理事長の4つの信念のひとつに、「水、電気などの資源を大切に使う」ということがあります。そして中城前理事長は、自ら率先してその信念を貫き通した人でした。

例えば、お風呂のお湯を入れ替えるときには浴槽の栓を抜くのではなく、まず洗濯するために洗濯機に入れ、残りのお湯はバケツや洗面器にいれておき、手洗いや手での洗濯に使い、バケツに残しておきます。洗濯機で使用したその元浴槽のお湯もまたバケツに戻して、トイレに流し、庭の植木の水遣りを行い、同じ水を3回以上は流用していました。そのために前理事長の自宅のお風呂場や洗面所には所狭しとバケツや洗面器が並べられているのが常でした。

60年史別冊「名もなき花を咲かせたい」の座談会では、山崎鶴恵元泉苑副施設長が、前理事長が亡くなる前日にも浴槽のお湯を洗濯機に入れ替えていた逸話を話されており、文字通り最期の最期まで信念を実践されました。

中城理事長は、水と同時に電気も非常に大切にしていました。真夏でもクーラーはつけず、窓を開けて過ごしていました。毎日、室内が本当に暗くなるまでは電灯をつけずに生活していました、と書くこと、とてもシヨボクレタ生活に思えますが、明治生まれで電気や水道のない時代に育ち、震災や戦争を乗り越えてこられた前理事長は、私たちが当たり前に享受している電気や水道の貴重さを痛いほど知り尽くしていたのだと思います。そして限りある自然の資源は無駄遣いせず、未来のために残さなくてはならないと繰り返し話されていました。

仕事の面では、いわゆる省エネには早くから取り組んでいました。太陽光発電は、現在では個人住宅でも設置されていますが、1975年4月に開設した信愛泉苑の新築にあたり、ソーラー設備に固執しました。オイルショックの後でしたから、エネルギー資源が供給できなくなってもお年寄りがお風呂に入れるようにと、太陽熱を利用した給湯設備に強い関心をもって、まだ開発中の設備を茨城県日立市まで見学にいき、ついに屋上にソーラーパイプを設置し、太陽熱で特浴への給湯を実現しました。

1993年8月に開設した府中市立あさひ苑の建設にあたっては、トイレの洗浄水に雨水利用を強く提案していました。

前理事長は、非常に稀有な先見性をもっており、太陽光発電や雨水利用は、時代の一歩も二歩も先を行く取り組みを数多く実践されていたひとつの証でもあります。

（青木志乃）

泉苑・しらとり
女子隊



おめでとう！（飯島 恵 石田百合垂 福島佳恵）

祝
優勝
!!!



機敏に行動



厳しい審査官たちの中で

平成19年6月22日金曜日、小雨の降る中、府中市自衛消防訓練審査会が府中市陸上競技場で開催されました。
法人がこの審査会に初出場したのは、平成7年。それから13年間、毎年府中市内の泉苑・しらとり、あさひ苑、緑苑がそれぞれのチームでこの審査会に出場し、日ごろの訓練の成果を発表して来ました。そしてついに、念願の優勝を泉苑・しらとり編成女子隊の石田百合垂、福島佳恵、飯島恵が獲得しました。府中市内は東芝、イトーヨーカドー、自衛隊、都立府中病院等の強豪がひしめく激戦地。このような中で、年月を積み重ね、先輩たちの経験を基に「優勝」を勝ち取ったことは、法人にとって大きな喜びです。当日、泉苑では館内放送で利用者の皆様にもこの朗報をお伝えしました。
中城イマ前理事長は、生前この審査会の審査員を務め、法人職員の活躍を見守っていてくれました。今回、泉苑・しらとり女子隊は坂本理事長が書いた「明るく大きな声、節度、冷静、正確、けじめとまじめ、ご健闘を祈る！」という言葉を胸ポケットに入れてこの審査会に臨みました。（あさひ苑、緑苑のみなさんごめんなさい）
帰苑後、優勝カップ、賞状を中城理事長の遺影に掲げて報告したのは言うまでもありません。もちろん、写真の中城理事長は「っこりうなずいていました。」
「常に防災に心がけ火を出さない」という法人の基本指針をこのような審査会を通じて、職員が確かなものにしていくことを確信しました。

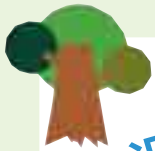
（上野広美）



緑苑も敢闘賞をいただきました。（柳 英恵・小林知子・大沢清佳）



あさひ苑は敢闘賞（伊東裕子・三村香奈・安倍宏之）



資源再生活動



緑苑

緑苑では府中市資源回収事業市民団体に登録し、御利用者の方々が資源回収作業を行っています。20年以上続いている活動です。古新聞やダンボールを集め、2ヶ月に1度回収業者が引き取ります。出した量に応じて府中市より補助金を頂きます。

この補助金を積み立てて、年度末には食事会を開いて1年の労をねぎらいます。



意識からエコ



連雀

- ・空調や電灯のスイッチに呼びかけを貼っています。
- ・電源やスイッチはこまめに切り、不要な電球はとりはずしています。
- ・3階までは階段を利用し、できるだけエレベーターは使用しません。
- ・席をはずす際はパソコンをこまめにシャットダウン。



地球を守ろう!!

エコロジー

地球温暖化や大気汚染、異常気象… 私たちと環境問題は切っても切り離せない深刻な関係になっていきます。今、私たちに何ができるでしょうか。各施設のエコロジーを紹介します。法人の基本指針はここでも息づいています。



施設からエコ



あさひ

多摩同胞会には、職員一人ひとりの意識はもちろん、施設設備からエコ活動に取り組んでいます。

府中市立あさひ苑では、雨水利用設備があります。

雨水貯水槽(降った雨をためておく場所)
ろ過装置・消毒タンク槽
処理槽
中水高置槽(屋上にある処理された水槽)
各階のトイレへ

*写真はろ過装置

たち

たちのトイレも再利用水を使用しています。

*写真はトイレの流すスイッチ

泉苑

泉苑の「太陽熱利用給湯設備」
残念ながら現在は使用できません。



リサイクルでエコ

しらとり



ペットボトルやカップを使っておもちゃを作ります。家庭でも用意でき、簡単に作ることができるのでリサイクルおもちゃは大好評です。

写真はヨーグルトカップを使ったビックリ箱です。



たち

小さなメモでも徹底してシュレッダーにかけています。裏紙のコピー機利用はもちろん、空白のある紙は全てメモ帳になります。

画用紙の端切れは捨てずに制作に生かします。本当に小さな破片は型抜きして飾り紙として使用します。



廃品・梱包材などは種類別にストックし、制作リサイクルおもちゃ・館内整理に生かしています。



岩本町



牛乳パックは、工作やキレイに洗ってまな板代わりに使用しています。 広告用紙を裏が無地ならメモに、裏表に印刷があるなら箱の形に折り、テーブルの上で簡易ゴミ箱などに使用しています。 空き缶を利用してマラカスを作り、音楽療法で大活躍しています。



緑苑



緑苑では毎食時に出る生ゴミを苑庭の土に混ぜて季節折々の花や家庭菜園に利用しております。今の季節でも美しい花々が咲き入居者の方々を癒していただいておりますが、これからの季節はトマトやナスが栽培され苑でのお食事に提供されます。

きずな



きずなでは年2回の不要品交換会を行っています。各家庭で不要になった服を洗って持ち寄りたり、おもちゃや文具にいたるまで、各家庭で不要になったものを他の家庭で使っていただいております。



泉苑

泉苑通所介護では、作業サークルで牛乳パックを使って製作活動をしています。

足台

午前の健康体操などで使います。牛乳パックを小さく切って組み合わせ、和紙を貼り付け、ニスを塗って強化します。軽くて丈夫!大きな男性が乗っても壊れません。



ペン立て

布切れをパッチワーク風に貼ったり(両面テープを使えば簡単)、ロンディー(ストッキングのような生地、筒状になっている)をかぶせて、くしゅくしゅとすれば、素敵なペン立てができます。



新人紹介

きずな



柴野久子 浦上さわ
利用者の方々をより理解していけるように努めます。どうぞ、よろしくお祈りします。

緑苑



介護員 杉安留美子
利用者の皆様方と共に楽しい毎日を過ごせたら最高。
管理栄養士 竹内友恵
まだ仕事を覚えることで精一杯ですが利用者の方々に癒されています。
調理員 秋山忠夫
美味しい食事をお出しします。バンビーノ！

泉苑



大谷恵理子 保美佐代 福島佳恵 星埜朋子
青木美沙子 内野淳子
いつも笑顔を心がけ、利用者の皆さんに安心して過ごして頂けるよう頑張ります。

連雀



柳マリ子 清水裕子 吉村友成 松本幸二郎
先輩達に負けないような仕事をしていきます。

どうぞ
よろしくお祈り致します！

しらとり



飯島恵 宮浦久美
しらとりは私たちに任せてください!!

あさひ苑



竹川邦彦 安田望 開田圭一 浅岡朋巳
皆様のお役に立てるような職員になりたいと思います。

岩本



鈴木利恵 谷川蘭 太田賢二 金澤匡晃
先輩方を見習い、一人前の職員になれるように努力しています。

たつち



福村真奈美
皆さんに優しくしていただいて、楽しく勤務しています。

平成十九年度、フレッシュな笑顔の新人職員です。



施設 だより

テーマ

夏色物語

各施設ならではの「夏」を紹介
皆さんはどんな「夏」を知っていますか？

あさひ苑

夏の風物詩

「夏って言えば何を思い浮かべる？」。ホームご利用者のAさんに漠然とこう問いかけてみると出てきた答えは、すいかでしょう、氷あずきでしょう、それから土用の丑の日に食べるうなぎなんかもいいわね」と食べ物のことばかりでした。

「夏の風物詩」といえる食べ物を思い浮かべてみると、皆さんはどんな食べ物
を思い浮かべますか？私が思い浮かべたのは冷やし中華やそうめん、寒天やと
ころてんなど。これらの食べ物は私たちに夏を感じさせてくれますし、見た目
にも涼しげな印象を与えてくれます。また、暑い夏をのりきるのに一役買って
くれます。

ところで、Aさんとの話にはまだ続きが。「もうすぐで納涼祭ね。お祭りって
にぎやかだし、出店がいっぱい出るし、本当に楽しみ。それに力キ氷が食べら
れるしね。今年には何が食べられるのかな？」。

そうおっしゃるAさんの満面の笑顔を見ている
と、準備する私達もわくわくして、今年は何をや
ろうかと考えているうちにどんどん楽しくなっ
てきます。

そんなあさひ苑の納涼祭は8月12日(日)に開
催されます。お時間のある方はぜひとも楽しい
お祭りにお越しください。



(介護員 紺野一哉)

きずな

花火にチャレンジ!!

きずな保育の夏のイベントの一つに夕涼み会があります。

夕方、保育児をもつ親子総勢30人程が保育室に集まり、保育士の出し物を見たり、一緒に食事をとりながら、みんなで少しの間暑さを忘れて楽しいひと時を送ります。様々な親子との親睦を深めていく保育の大事な行事の一つです。

その夕涼み会の中でも子ども達が一番楽しみにしているのが夕涼み会の最後に行う花火大会！あたりが暗くなってきたら、みんなお待ち兼ねの花火大会の始まりです。みんな思い思いに花火をし始め、嬉しい悲鳴があちこちから聞こえてきます。その中に前年恐くてなかなか花火に近づけなかったAくんが、今回はいつの間にか一人で花火を持ちチャレンジしようとしている姿がありました。思わず「大丈夫？」と声をかけますが、本人は「うん！」と一言。お母さんに後ろから手を添えられ、少し緊張気味なAくん。ドキドキ。花火に火がついた瞬間、緊張していた顔が一瞬で満面の笑みになりました。それからは自信がっていたのか次から次へとチャレンジ！花火を恐がっているお友達には「面白いよ！」と声をかけ、得意顔！また一歩成長した子どもの姿を見ることのできた微笑ましい一瞬でした。



(保育士 小川智恵)

泉苑

コンテスト?

暑い夏がやって来ました。夏と言えば・・・？
やはりお祭りでしょう！泉苑デイサービスでは、毎年八月の「納涼祭」。活動室内で、しかも昼間ではありますが臨場感はたつぷりです。もちろんにやぐら、浴衣に盆踊り、出店で遊んで最後は花火・・・ご利用者も職員も、この日は童心に返ってお祭りを大いに楽しみます。

今年はさらにもう一つ、「納涼祭」を盛り上げる面白い企画があります。それは、『団扇コンテスト』です。普段のデイサービスの活動の中で、ご利用者が団扇を作ります。絵を描いたり筆で字を書いたり、ちぎり絵をしたり・・・。出来上がった沢山の団扇を壁に貼り、どの団扇が一番かご利用者や職員、外部のお客様が投票をします。そして、一番多くの票を集めた団扇を作った方に、素敵な景品をプレゼント！

今年の「納涼祭」を盛り上げるためには、あなたの一票が必要です。ぜひ『団扇コンテスト』にご参加下さい!!



(介護員 山田絵梨香)

たっち

夏の名物!?

暑い季節になると、汗をかきかきたくさんの親子が「こんにちはー！」と元気な声でやってきます。弱めの冷房でも保護者の方には天国のようで「生き返るー」と一言子どもたちは暑くも涼しくもお構いなし、元気に遊びます！

しかし府中の街中のビルの中、季節を感じるのは至難の業。それでもスタッフは様々な工夫をしています。その一つがスポーツタイム。季節の歌を歌ったり、大きな布で海を表現したり。極めつけはこの大きなスイカ！出てきた瞬間にたくさん親子から歓声が上がります。思いがけない場所でのスイカ割りに興味深々。道具の説明を受け、スイカの歌を歌い、いざスイカ割りに挑みます。みんなで叩いた後、中から真っ赤ななかみが出てくると感嘆の声があがりました。

大きな手作りのスイカ。今年も活躍してくれそうです。

(受付担当)

高橋明子)



連雀

夏祭り!!

「神田祭だ、ワッショイ、ワッショイ！」と毎日のおっしやっていたAさん。やっと、この日がやってきました。二年に一度の神田祭。

かんだ連雀のご利用者も半纏を着て、さあ出発！神輿を担ぐ連雀職員の応援にいきま。

大通りに出れば何十基もの神輿が威勢の良い掛け声で、目の前を次から次へと通っていきます。町会ごとに半纏や手ぬぐいは色も柄も様々。中には女神輿もあります。ご利用者も目を輝かせて神輿の様子をご覧になっていました。

Aさんも大きな声で「ワッショイ、ワッショイ！」ご利用者の中には、昔、神輿を担いでいたとおっしゃる方も。神田っ子の血が騒ぎますね。

早朝から連雀職員達が担いだ神輿は昼過ぎに、神田明神へ無事に宮入りを果たすことが出来ました。

(介護員)

重田明日香)



緑苑

夏の思い出!!

「夏と言えば」で皆さんは何を思い浮かべますか？海・山・お祭り・花火大会・甲子園等々いろいろあります。

緑苑の入居者の方々にも何か思い出ありませんか？と尋ねたところ、やはり子供の時の思い出が多いようでした。北海道出身のMさんは「僕は海沿いじゃなく内地だったから川遊びばかりしていたな。ヤマメだつて手づかみで獲ったもんだよ」一方、九州熊本出身のHさんは「蝉やかぶと虫も多かったけど、何より蚊が多くてね。夜になるとお父さんが蚊帳を張ってくれて、その中で遊ぶのが面白かったな」とおっしゃっていました。若い皆さん「蚊帳ってご存知ですか？私は年代的にかるうじて蚊帳の存在を知っています。かるうじてですよ。知らない若い皆さん、この際「蚊帳」ってどんなものが調べてくださいね。



そう言えば、蚊帳の外という言葉もありますね。

(介護員
平岡貴弘)

しらとり

音楽大好き!

子ども達は音楽が大好きです。歌を歌ったり、リトミックをしたり・・・

季節を問わず、保育に音楽は欠かせません。しらとり保育室では子ども達の年齢が様々なので、保育に取り入れる歌やダンスを決めるのも「このダンスは小さい子には難しいかな：でも大きい子はやりたいだろうな：」といった悩みながら決めていました。しかし、先日こんなことがありました。

小さい子には難しいかなあと思っていた歌に合わせて、みんなでダンスをしていた時、0歳の女の子が目キラキラさせて一緒にダンスをしていたのです。音楽を楽しむことに年齢は関係ないのだと改めて感じた瞬間でした。

暑い夏の時期は、乳児にとつて決して過ごしやすい季節とは言えません。外へ出て思いっきり遊ぶことも難しくなる時期ですが、室内でリトミックやダンスをして体をおもいつきり動かしたり、水あそびを楽しんだり…。夏は元気いっぱい、楽しいことが盛りだくさんです。今年の夏も音楽が溢れる元気いっぱいの明るい保育室にしたいと思っています。

(保育士 田中千絵子)



岩本町

「夏の口癖」

グループホームいわもとで現在最高齢で95歳のAさん。夏の生まれですが、暑いのがとても苦手な方です。夏が来る前から「暑いねえ〜」と言うのが口癖になってきます。扇風機を近くに置いたり、うちわであおいであげたりすると「ありがと。ありがと。ありがと。」と何度も言つて、喜んでくれます。

そんなAさんは、去年の夏は1ヶ月ほど入院したため、病院で夏を過ごしました。いつもの口癖が聞けなくて寂しく、「病院でも言ってるのかなあ〜」とAさんのことを思い浮かべながら、帰りを待ちました。結局Aさんが退院してきたのは9月だったため、「暑いねえ〜」と言う声あまり聞けませんでした。去年は、そんな少し物足りない夏だったような気がします。

最高齢ながらも、今1番元気なAさん。今年はまだ、その口癖を聞きながら、Aさんと一緒に暑い！暑い！夏を元気に乗り切っていきたいと思えます。

(介護員
稲葉悦子)



ボランティア紹介

～岩本町ほほえみプラザ～

岩本町ほほえみプラザの、地域支援事業の一つに「倶楽部いわもと」というビリヤード教室があります。ここで、ボランティア講師をして下さっている堀田武三郎さんを紹介し

堀田さんは、同じ建物にあるケアハウスの入居者です。毎週木曜日の午後は、倶楽部いわもとの講師として、日曜日は常連の仲間たちと一緒に活動しています。ビリヤードを通じて、地域の方の介護予防や交流に役買って下さる上、ご自身の介護予防・生きがい作りにも役立っているようです。ビリヤード台が置いてある部屋には、素敵な絵を飾ったり、くつろぎの演出をしたりと自分たちで工夫しており、一歩足を踏み入れただけで、この空間をととても大切にされていることが伝わってきます。これからも、多くの方々の交流を通して、元気にハツラツと活動して頂きたいと思えます。

(介護員 野田 久美子)



キューさばきもプロ級

御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

池田幸作 NEC ネットエスアイ・サービス株式会社
大塚幸子 岡本吉司 小川やゑ子 乙葉美代子
榎由昭 株式会社H40 株式会社おやつカンパニ
榎カルピス ㈱文化放送取締役社長室 榎サ
リオビュロランド ㈱読売巨人軍ファンサービス
部 小泉なか 国際ソロプチミスト 資生堂関西物

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

會津由華 会田久枝 青木成江 青山幸子 赤櫻直樹 赤田美恵子 赤林好子 秋山恵美子 浅野貞子 朝日丈史 浅見スジ子 網代恵美 阿部珠峰 阿部才千代 天ヶ谷久宜 荒井光三(三菱東京UFJ銀行) 有馬正人(安田不動産) 有本陽子 飯塚喜代子 飯田アヤ子 飯田八重子 飯野正博 伊串久美子 井口イマ 井口有為子 池田彩子 石井宏 石黒富子 石坂美代子 石坂勝世 石原みつる 市川明子 市川知子 市川アイ子 伊藤うめ子 伊東富美子 井上摩利子 井上陽子 井上宏子 井踏世津子 大倉弘子 上田悦子 上野玲子 鶴沢シズ 内堀美喜 内村真紀 内海保子 江口亜津子 榎本義秀 海老沢信子 海老原志づ子 遠藤みつよ 遠藤陽子 遠藤伊代 遠藤博子 大久保幸子 大沢悟 大西妙子 大橋正子 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡野玲子 沖音楽教室 萩野和子 萩原八枝 小倉道子 尾崎ヨシ子 尾崎節子 小野寺若菜(エーオン) 恩田猛 海江田紀久子 笠間豊子 梶田慶子 鹿島千重子 片桐キミ子 学校図書館を考えた会 勝又猛志(安田不動産) 加藤博子 加藤美枝子 加藤洋子 加藤静 金澤静江 上梅裕史 上沢美和子 上村峰隆 亀岡紀知信 川内野茂俊 川崎綾子 川崎和代 川尻 川出美枝子 北村卓也 北村よしこ 城所栄子 木下照子 木村葵 木村幸子 木村昇 草野美鈴 窪田正紀 久保田摩耶子 窪野咲子 栗原朱美 Kurase, Seiji (総社靖嗣) 警察学校 弦間まさ 小泉純子 小出農一 小出由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 小坂緑 小島徹 小島百合子 小谷文子 後藤寿枝 小林大壽 小林久子 五味佑子 近藤和美 今野幸子 今野博文 (安田不動産) 紺野和子 斉藤孝子 酒井和子 酒井紘子 坂下貴美子 坂本・塚本他ボテイショップ六本木の皆様 阪本朝雄 坂本真実 坂本越子 真方利恵 佐藤秋子 佐藤英子 佐藤公子 佐藤敬太 佐藤孝弘 佐藤智大 佐藤なかり 佐藤宏樹 佐藤初江 佐野田鶴子 澤野加奈恵 塩入圭子 塩沢千鶴 志岐昂一 重田文子 品田啓子 芝田朋子 島津弘子 島田たす 清水文枝 下江美鈴 下条エイ子 新郷富実子 進藤サエ子 進藤理子 杉本久子 助川寛(安田不動産) 鈴木昌子 砂原喜美子 関沼宏樹 瀬戸貞子 園田澄子 園田英子 平艶子 高木孝 高鳥米子 高鍋恵子 鷹野榮子 高野益行 高野晴美 高橋幸子 高橋ちよ子 竹松ふく 田口稔子 竹内由美子 竹内範子 竹中晃司 武野純子 辰本ケイ子 立石絵里香 田中久美子 田中翠 田中聡子 谷澤ミツ子 田部美智子 丹明善 丹生初江 丹野由紀子 辻井裕章 土屋和子 常木和子 角田洋子 角田和歌子 手塚正輝 豊田あかね 豊永昌子 鳥井晶子 内藤綾子 中込八重子 中下秀子 長島敬子 中嶋永子 長島広美 永野信子 中田愛子 中野喜久馬 永見聡三郎 中村フサ子 中村清美 中村美佐江 中山照子 中山康 植林美枝子 新津好美 新村孝子 西久保長子 西崎毅史 西宮智恵子 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 野本昭彦 萩村光恵 萩原昭子 橋口綾子 橋場昭 橋本恵子 長谷川宣子 羽鳥みのる NPO法人花咲き村 早川菊枝 早川洋子 林健太郎 林隆行 羽山直子 原島菊枝 原田康子 肥後住江 平井暉子 平泉順子 平澤みどり 平田敦子 平野幸子 平山房子 堀切重明 深町有子 福島英代 福住浩一 船岡栄子 古園美歩 法師人 富子 堀田武三郎 本多真希子 牧内ヤス子 町田知之 松浦良枝 松沢佳代子 松澤通子 松下朗 松下朋子 松田恵子 松田孝 松野アイ 松本東子 松本みなと 間野篤子 水美智子 水谷静枝 水野智恵 箕輪和子 宮崎美知子 宮澤由紀枝 宮下美智子 明神淑恵 明神れい子 三輪孝子 茂木万里子 望月友子 母里英子 森玲子 森下晋 谷貝祥子 矢ヶ崎綾子 八木かつ子 安田恵柳 佳代子 柳澤宣明 山上涼子 山口大介 山崎充生 山崎幸夫 山田一丸 山田和男 山田ケイ子 山田佳津江 山田喜美江 山田サワ子 山田シツ 山田順子 山本峰子 弓削田恵美子 横田明子 横田公子 吉川孝一 吉田千鶴子 吉田ヒサ子 吉田秀樹 吉田裕昭 吉田陸子 吉野美恵子 米山秀子 角角晶子 我妻文子 脇山令子 渡辺キク 渡辺勇

(平成19年1月～5月)

編集後記

社会福祉法人の活動をいろいろな角度から、皆様にお伝えしていきたいと思えます。上野広美(編集長) 今年25周年を迎える、季刊しんあいの伝統を継承しつつ、新しい取り組みを行ってまいります。

青木志乃(事務局本部) 施設での出来事をより多くの人達に伝えていきます。浅見達也(あさひ苑) 楽しんで読んでいただけような季刊誌にします。よろしくお願ひします。

光江浩(あさひ苑) 5年ぶりの復帰です。初心に帰りたい記事を書いていきます。

平岡貴弘(緑苑) 多くの方に、楽しく気軽に読んでもらえる季刊誌にします。稲葉悦子(岩本町) 楽しくわかりやすい紙面作りを目指します!

高橋明子(たっち) 読んでいた方の方の顔を思い浮かべて、記事を書いていきます。

若林佑子(きずな) 初めての編集委員になり緊張しますが、皆さんに楽しく読んでもらいたいと思えます。

小川智恵(きずな) 3回目の編集委員です。「伝える」ことの難しさを改めて感じました。

志村美由紀(しらとり) 一人でも多くの方に読んで頂けるよう、楽しい情報を探し編集メンバーと協力していきます。

友利幸江(連雀) 1年間編集委員の活動を少しみたいと思えます。山田絵梨香(泉苑) 施設での楽しい情報がお伝えできるよう頑張ります!! 岸 千陽(泉苑)

特別養護老人ホーム 信愛泉苑
高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
養護老人ホーム 信愛寮
特別養護老人ホーム 信愛緑苑
府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑
府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
府中市子ども家庭支援センター たっち

特別養護老人ホーム かんだ連雀
かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
千代田区立岩本町ほほえみプラザ
子ども家庭支援センター しらとり
母子生活支援施設 白鳥寮
母子生活支援施設 東京都網代ホームきずな

